

競 技 日 程

第1日 9月14日(木)

トラック競技

順	種 目	ラウンド	組 着	人数	時 刻
1	男 八種 100m		2	9	9:50
2	女 4×100mR	予	4×1+4	25	10:00
3	男 4×100mR	予	4×1+4	29	10:20
4	男 1500m	予	6×2+3	88	10:45
5	女 400m	予	6×2+4	47	11:30
6	男 400m	予	9×2+6	66	12:00
7	女 100mH	予	3×2+2	20	12:50
8	女 400m	準	2×3+2		13:25
9	男 400m	準	3×2+2		13:50
10	女 5000mW	決	1	5	14:15
11	女 100mH	決	1		15:05
12	女 400m	決	1		15:20
13	男 400m	決	1		15:30
14	男 5000mW	決	1	8	15:40
15	男 八種 400m		2	9	16:15
16	女 1500m	タイムレース	3	49	16:25
17	男 1500m	決	1		16:50
18	女 4×100mR	決	1		17:00
19	男 4×100mR	決	1		17:10

跳躍競技

順	種 目	ラウンド	人 数	時 刻
1	男 棒高跳	決	9	10:00
2	男 八種 走幅跳		9	11:30
3	女 走高跳	決	15	13:00
4	男 走幅跳	決	46	14:30

投てき競技

順	種 目	ラウンド	人 数	時 刻
1	男 ハンマー投	決	10	10:00
2	女 ハンマー投	決	8	12:00
3	男 八種 砲丸投		9	13:00
4	女 やり投	決	13	14:00

第2日目 9月15日(金)

トラック競技

順	種 目	ラウンド	組 着	人数	時 刻
1	女 七種 100mH		2	11	9:00
2	男 八種 110mH		2	9	9:15
3	男 800m	予	6×3+6	82	9:30
4	女 800m	予	5×2+6	55	10:10
5	女 100m	予	9×2+6	66	10:35
6	男 100m	予	11×1+13	83	11:10
7	女 400mH	予	2×3+2	15	12:05
8	男 400mH	予	2×3+2	14	12:20
9	女 100m	準	3×2+2		12:45
10	男 100m	準	3×2+2		13:05
11	男 800m	準	3×2+2		13:20
12	女 800m	準	2×3+2		13:40
13	女 400mH	決	1		14:05
14	男 400mH	決	1		14:15
15	女 100m	決	1		14:30
16	男 100m	決	1		14:40
17	女 七種 200m		1		14:50
18	男 八種 1500m		1	9	15:00
19	男 5000m	タイムレース	3	62	15:15
20	女 4×400mR	予	3×1+5	23	16:25
21	男 4×400mR	予	4×1+4	30	16:45

跳躍競技

順	種 目	ラウンド	人 数	時 刻
1	女 棒高跳	決	4	10:00
2	女 七種 走高跳		11	10:00
3	男 三段跳	決	23	11:30
4	男 八種 走高跳		9	12:30
5	女 走幅跳	決	33	14:00

投てき競技

順	種 目	ラウンド	人 数	時 刻
1	男 砲丸投	決	25	10:00
2	男 八種 やり投		9	10:30
3	男 やり投	決	23	12:00
4	女 七種 砲丸投		11	13:00
5	女 円盤投	決	17	15:00

第3日目 9月16日(土)

トラック競技

順	種 目	ラウンド	組 着	人数	時 刻
1	女 200m	予	8×2+8	62	11:00
2	男 200m	予	10×2+4	77	11:35
3	男 110mH	予	2×3+2	15	12:35
4	女 800m	決	1		12:50
5	男 800m	決	1		13:00
6	女 200m	準	3×2+2		13:15
7	男 200m	準	3×2+2		13:35
8	女 3000m	タイムレース	2	32	13:55
9	男 110mH	決	1		14:35
10	女 200m	決	1		14:50
11	男 200m	決	1		15:05
12	男 3000mSC	タイムレース	2	35	15:20
13	女 七種 800m		2		15:50
14	女 4×400mR	決	1		16:10
15	男 4×400mR	決	1		16:20

跳躍競技

順	種 目	ラウンド	人 数	時 刻
1	女 七種走幅跳		11	11:00
2	男 走高跳	決	20	12:30
3	女 三段跳	決	14	12:30

投てき競技

順	種 目	ラウンド	人 数	時 刻
1	男 円盤投	決	19	11:00
2	女 砲丸投	決	14	13:00
3	女 七種 やり投		11	13:40

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2017年度一般財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会競技注意事項によって行う。

2 招集について

(1) 招集所はバックスタンド下、雨天練習場（200 mスタート地点側）裏側に設ける。

(2) 招集開始時刻（点呼開始）及び招集完了時刻（移動開始）は競技開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

<トラック種目>

100m予選 200m予選 400m予選 800m予選			男子 1500m予選 女子 1500mタイムレース			100mH・110mH予選 400mH予選 4×100mR予選 4×400mR予選		3000mタイムレース 5000mタイムレース 3000mSCタイムレース		
組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了
1~4	35分前	20分前	1~2	30分前	15分前	30分前	15分前	1	30分前	15分前
5~8	25分前	10分前	3~4	20分前	5分前			2	15分前	0分前
9~11	15分前	0分前	5~6	10分前	5分過			3	0分前	15分過
準決勝・決勝（上記タイムレース決勝種目を除く全種目）						招集開始		招集完了		
						30分前		15分前		

<フィールド種目>

	招集開始	招集完了
走高跳・走幅跳・三段跳・砲丸	60分前	40分前
棒高跳	男 70分前 女 50分前	男 60分前 女 40分前
円盤投・ハンマー投・やり投	70分前	60分前

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

(4) 招集の手順

① 競技者は上記(2)に示した招集開始時刻には招集所に待機し、最終確認を受けること。

その際、上半身は競技服装になり、ナンバーカード・競技用靴・衣類・持ち物の点検を受けること。

② ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできないので、あらかじめ学校関係者に預けておくこと。

③ 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

④ 代理人による招集の最終確認は認めない。但し、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに招集所に届け出ること。

⑤ リレー競走に出場するチームは、その種目の招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙にオーダーを記入し提出すること。また、決勝においても、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに提出すること。用紙は競技者係から受け取ること。

⑥ 混成競技の招集は、第1日および第2日の最初の種目については、前記の招集時間一覧表のとおり招集所で行う。第2種目以降は、競技開始時刻までに実施場所に集合すること。

3 競技について

(1) スパイクシューズのスパイクピンの長さは9 mm以下とする。走高跳・やり投については12 mm以下とする。

(2) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。

- (3) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。この規則に従わなければ、チームは失格となる。
- (4) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者がでたとき（以下同タイム者という）は、写真判定機で拡大し、細部（電気計時1/1000）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
- (5) 4×400mRの第3・第4走者は、前走者が200mスタート地点を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、待機している走者は、この順序を維持しなくてはならず、バトンを受け取るまで入れ替わることは認められない。違反した場合は、そのチームを失格とする。なお、バトンを渡し終えた走者は他チームの進路を妨害しないように留意すること。
- (6) 800mの予選はオープンレーンとし、準決勝・決勝については100mまでをセパレートレーンとする。
- (7) 男子5000m・3000m S C、女子1500m・3000mについては、タイムレースとする。
- (8) 三段跳の踏切板の位置は、審判長の判断で決定する。
- (9) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて審判員の指示に従うこと。
- (10) 各種目、上位に入賞した3名（3チーム）（混成は2名）は、九州新人大会の出場権を得る。
- (11) フィールド競技においてセットラインを設けることもある。設ける場合は監督会議で示す。

4 ナンバーカードについて

ナンバーカードはユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳は胸部または背部のみでもよい。また、トラック競技出場者は、招集所で配付される写真判定用の腰ナンバーカードを右後方につけること。

5 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝については、本部がルールに則り、組み合わせ、レーン順を決定する。フィールド競技の決勝については、3回の試技で上位8人を選出し、記録した成績の低い順に、あと3回の試技をする。

6 競技用具について

競技に使用する用具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用のポールに限り個人所有のものを使用することができる。やり・円盤・ハンマーに関しては個人所有のものであっても検定を受けて使用することができる。但し、検定を受け、認定された用具は本競技場の所有用具として取り扱い、競技終了まで返却しない。

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

- (1) 走高跳、棒高跳における練習および競技中のバーの上げ方は、最後の一人になる場合を除き、下記のとおりとする。なお、気象条件等により変更することもある。

[男子]

走高跳	1.60（練習）	1.65	1.70	1.75	1.80	1.83	1.86	1.89	1.92（以後3cm上がり）
棒高跳	2.40（練習）	2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	3.30	3.40	3.50（以後10cm上がり）

[女子]

走高跳	1.25（練習）	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	1.56	1.59（以後3cm上がり）
棒高跳	1.70（練習）	1.80	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	2.50（以後10cm上がり）
- (2) 混成競技走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

八種走高跳	1.35（練習）	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.63	1.66（以後3cm上がり）
七種走高跳	1.05（練習）	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.33	1.36（以後3cm上がり）

※スタートの高さについては選手の状況をみて柔軟に対応する。
- (3) 第1位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。

8 表彰について

- (1) 各種目とも3位までの入賞者は表彰をするので、競技終了後、正面スタンド下の表彰控え所に集合すること。各校の競技用ユニフォーム（下はジャージ着用）で表彰を受けること。
- (2) 団体の表彰は、男女別に総合、トラック、フィールドの部のそれぞれ3位まで行う。なお同得点の場合は、上位種目の多い学校を上位とする。
- (3) 入賞者の得点は、1位6点・2位5点・3位4点・4位3点・5位2点・6位1点とする。

9 その他

- (1) 監督は常に選手を掌握し、万一選手に事故があった場合には競技本部に連絡すること。
- (2) 事故については応急処置のみを行い、以後、各参加校の責任において処置すること。
- (3) 貴重品の保管については各自が行う。もし盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意すること。
- (4) 記録の証明を希望する競技者は、庶務係に300円を添えて申込み、10分後に受け取る。
- (5) 抗議がある場合は、上訴申立書（競技規則146条〔国内競技会〕）によって総務に提出する。
- (6) 当日の記録は、競技場正面掲示板に掲示する。
- (7) 競技場内での写真撮影は、大会本部の許可を受けること（報道カメラマンのみ許可する）。
- (8) すべての応援はスタンドで行うこと。ただし、正面スタンドにおける集団での応援は禁止する。
- (9) 各種目3位までの入賞者（混成競技は2位まで）は、全九州大会の出場に関する確認作業のため、表彰の後に必ず本部席まで集合すること。
- (10) 参加・応援のマナーについて
 - ・会場への公共交通機関内でのマナー及び自転車等の交通マナーを守ること
 - ・会場や周辺のコンビニ・施設等におけるマナーを守ること
- (11) 個人情報は大大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
個人情報の取り扱い ①大会プログラム掲載。
②競技場内でのアナウンス等による紹介。
③電光掲示板・掲示板等への掲載。
④競技結果の報道機関・報告書等への掲載。
⑤新記録や優勝結果等の大会プログラム（次年度以降）への掲載。
⑥報道機関が撮影した写真・映像の公開。

【競技会で使用する略語・略号】

NR	日本記録	(National Record)	DQ	失格	(Disqualified)
=NR	日本タイ記録	(Equal National Record)	Q	順位による通過者	(Qualified)
NJR	ジュニア日本記録	(National Junior Record)	q	記録による通過者	(qualified)
GR	大会記録	(Game Record)	○	成功（有効試技）	(Cleared)
=GR	大会タイ記録	(Equal Game Record)	×	失敗（無効試技）	(Failed)
NM	記録なし	(No Marks)	—	パス	(Pass)
DNS	欠場	(Did Not Start)	r	試技放棄（離脱）	
DNF	途中棄権	(Did Not Finish)			

練習会場と使用時間について

会場	種目	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)
県立鴨池陸上競技場	トラック & 跳躍	10:00～18:00 ※設営終了後～	7:30～9:20 (開会式を除く) 競技終了～ 18:00	7:30～8:30 競技終了～ 18:00	7:30～9:00
		レーン割当 1～2レーン；長距離 3～6レーン；短距離・リレー ※ 芝生全面禁止 7～8レーン；ハードル			
	投てき	砲丸投のみ可(時間はトラック&跳躍と同じ)			
県立補助競技場	トラック & 跳躍		7:30～17:00	7:30～17:00	7:30～17:00
		幅・三段ピットのみ 10:00～18:00	レーン割当 1～2レーン；長距離 3～6レーン；短距離・リレー 7～8レーン；ハードル		
		※ 補助競技場で競技が行われている時間帯は、競技優先のためトラックの一部を閉鎖します。			
	投てき	10:00～17:00	16:00～17:00		
投てき種目については、競技開始前に練習時間を設定する。					

※ 練習について(14日は、補助競技場での練習は投擲のみです。)

- (1) 練習については、練習会場系の指示に従うこと。
- (2) 練習会場に個人の道具類(ミニハードルやラダー等)を置いての練習は禁止する。
- (3) バックスタンド下(雨天練習場の使用について)
 - ・ 狭くて混雑します。周囲の安全に万全の注意を払って使用してください。
 - ・ 右側通行で練習をしてください。係員の指示がある場合はその指示に従ってください。
 - ・ ジョグや動きづくり程度しか練習できません。
 - ・ 走路や走路周辺を待機場所にしたり、物を置いたりしないでください。
- (4) 投てき練習については、顧問立ち合いのもとで行うこと。